

イボイモリ

分 類：有尾目 イモリ科

カ テ ゴ リ ー：希少種

形 態：全長約16cm。全身黒褐色で、肛門の周り、四肢の裏、尾の下面、肋骨の先端はオレンジ色を呈する。脊椎は著しく隆起し、左右に肋骨が突出するため、背面を真上から見ると木の葉のような形状をなす。頭部は扁平で、顎が横に張り出している。沖縄県内の個体群は奄美大島や徳之島産の個体群とは、形態的にも遺伝的にも若干の差異が認められている。

近似種との区別：シリケンイモリの幼生が全身黒色を呈しているのに対し、本種の幼生は半透明で、全身に黒斑があること、背びれが頭胴部の中央から出ていることで区別される。

分 布 の 概 要：沖縄県内では、沖縄島（沖縄市や具志川市以北の市町村、玉城村、知念村）、瀬底島及び渡嘉敷島に分布する。

近縁な種及び群との分布状況の比較：

T. asperrimus が中国南部（甘粛、広西、貴州、四川）、*T. chinhaie sis* が揚子江河口域、*T. verrucosus*、*T. kweichowensis*、*T. taliangensis* がヒマラヤ東部に分布する。

生 態 的 特 性：本種は主として山地森林内に分布するが、山麓部及びその隣接するキビ畑など比較的低地にも生息している。生息場所は落葉や積み草、倒木、転石の下など、日の当たらない湿った場所が多いが、成体を水中で見かけることはない。まれに、比較的乾いた場所から発見されることもある。2月から7月頃に、水たまりから少し離れた陸上の落ち葉の下などに産卵し、卵は22日～27日で孵化する。幼生期のみ水中生活し、2～3ヶ月で変態し陸上生活へ移行する。

生 息 条 件：直射日光の当たらない森の中の湿った場所や、落ち葉や腐植土の堆積した場所がすみ場所となる。普段は水に依存しないが、繁殖期には水たまりの周辺に集まるようになる。

生息状況：沖縄島におけるイボイモリの自然分布地は、読谷村高志保から沖縄市登川以北と、玉城村富里から知念村の百名及び久出堅にかけての一部地域が知られている。沖縄中北部よりも南部地域における生息個体数は少ないと思われる。

学術的意義・評価：近縁種が中国南部やヒマラヤ東部に分布していることから、中国と琉球列島の地史的関連を示す種として動物地理学上重要である。また原始的な形態を多く有し、分類学上も貴重な種である。

生存に対する脅威：河川の源流部や低地の林縁部、森林に隣接する農耕地周辺の水たまり等が産卵及び幼生のすみ場所として重要である。また生息地域に設置された林道などの側溝に落下して死亡することが知られており、これらの構造物の影響が懸念される。

特 記 事 項：中部琉球（奄美大島、徳之島、沖縄島、瀬底島、渡嘉敷島）の固有種。県指定天然記念物（1978）。

原 記 載：Boulenger, G.A., 1892. Descriptions of new reptiles and batrachians from the Loo Choo islands. Ann. Mag. Nat. Hist., 6: 302-304.

参 考 文 献：Brodie, E.D., Jr., R.A. Nussbaum, and M. Digiovanni, 1984. Anti predator adaptations of Asian salamanders (Salamandridae). Herpetologica, 40(1): 56-68.

千木良 芳範・島袋 盛和,1980.漢那岳におけるイボイモリの側溝への落下について.沖縄生物学会誌,(18):45-49.

Hayashi,M.and M.Matsui,1989.Preliminary study of phylogeny in the family salamandridae:allozyme data.In:M.Matsui,T.Hikida,and R.C.Goris(eds.),Current Herpetology in East Asia,pp.157-167.Herpetological Society of Japan,Kyoto.

Hayashi,T.,M.Matsui,T.Utsunomiya,S.Tanaka,and H.Ota,1992.Allozyme variation in the newt *Tylototriton andersoni* from three islands of the Ryukyu Archipelago.Herpetologica,48(2):178-184.

又吉 盛健・大城 信弘・喜友名 孝子・千川 裕・他,1977.沖縄島におけるイボイモリの分布について.沖縄生物学会誌,(15):1-4.

又吉 盛健・大城 信弘・喜友名 孝子・千川 裕・三井 興治・熊谷 英子.1978.イボイモリの産卵について.沖縄生物学会誌,(16):11-16.

Nussbaum,R.A.,and E.D.Brodie,Jr.,1982.Partitioning of the salamandrid genus *Tylototriton*(Amphibia:Caudata)with a description of a new genus.Herpetologica,38(2):320-332.

Seto,T.,Y.Utsunomiya,and T.Utsunomiya,1982.Karyotypes and banding patterns of *Tylototriton andersoni* Boulenger,a newt endemic to the Ryukyu Islands.Jpn.J.Genet.,57:527-534.

田中 聡,1994.瀬底島におけるイボイモリとシリケンイモリの生態についての予備的考察.沖生教研会誌,26:13-21.

宇都宮 泰明・宇都宮 妙子,1977.イボイモリ(*Tylototriton andersoni*)の発生.J.Fac.Fish.Anim.Husb.,Hiroshima Univ.,16:65-76.

Utsunomiya,Y.,T.Utsunomiya,and S.Kawachi,1978.Some ecological observation of *Tylototriton andersoni*,a terrestrial salamander occurring in the Tokunoshima island.Proc.Japan Acad.,54(7):341-346.

【出典】 沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータおきなわ（沖縄県）
P.347-348



[沖縄県南部地域で確認]